

主要地方道女川牡鹿線 大谷川浜小積浜道路整備事業



■事業内容

事業区間	小積浜工区	トンネル	大谷川浜工区
事業期間	平成29年度～令和9年度		
事業費	約67億円		
延長	L=1,840m		
	L=786m	L=820m	L=234m
車道幅員 ()内は全幅員	6.0(8.5)m	6.0(7.5)m	6.0(8.5)m
道路諸元	道路規格	第3種第3級	
	設計速度	50km/h	

■整備効果

防災	1. 災害に強い道路ネットワークの構築	医療	2. 牡鹿半島東岸地区からの救急搬送時間の短縮
活力	3. 水産業など地場産品の販路拡大と金華沖魚介類の商品価値の向上	観光	4. 観光客の牡鹿半島及び三陸復興国立公園へのアクセス向上

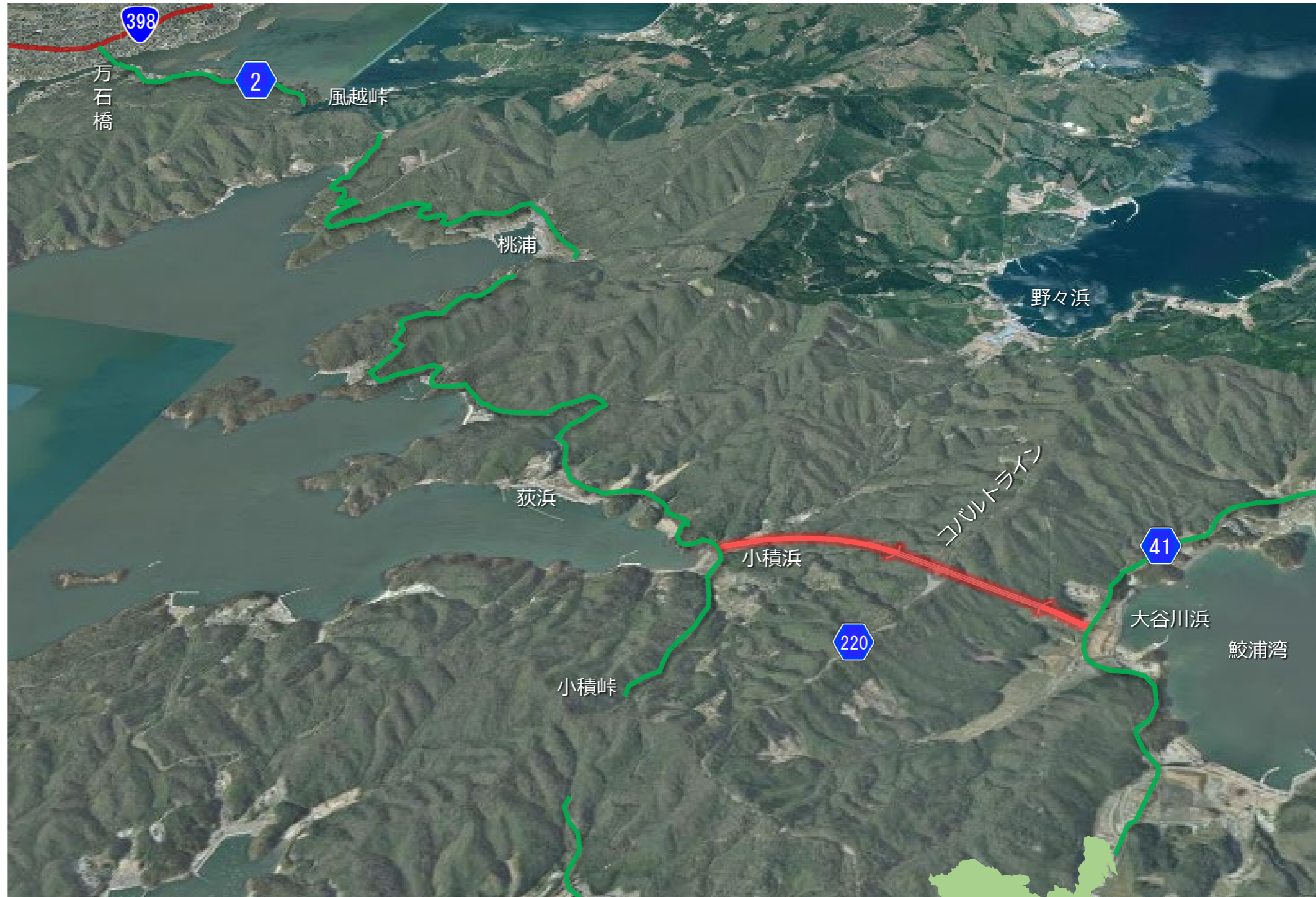
小積浜地区と大谷川浜地区の間には、戦時中に集落の住民が避難する道として作られた「防衛道路」がありました。東日本大震災では、住民がこの道路に避難し一晩を明かしたと言います。先人たちの道標を引き継ぎ、これに代わる新たな道路を築きます。



防衛道路の歴史
(動画)



大谷川浜小積浜道路
事業ホームページ



国土地理院Globeを加工して作成



お問い合わせ先
宮城県東部土木事務所
石巻市あゆみ野5丁目7番地
道路建設第一班 0225-94-8763
用地第一班 0225-94-8761



事業概要

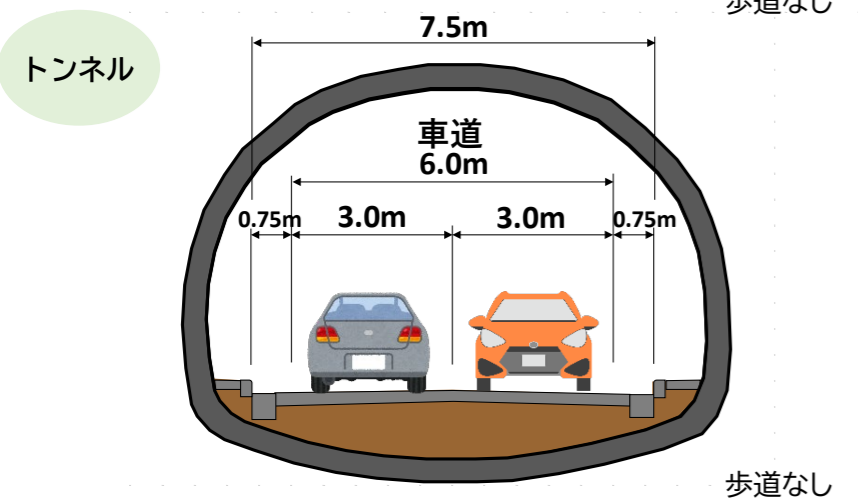
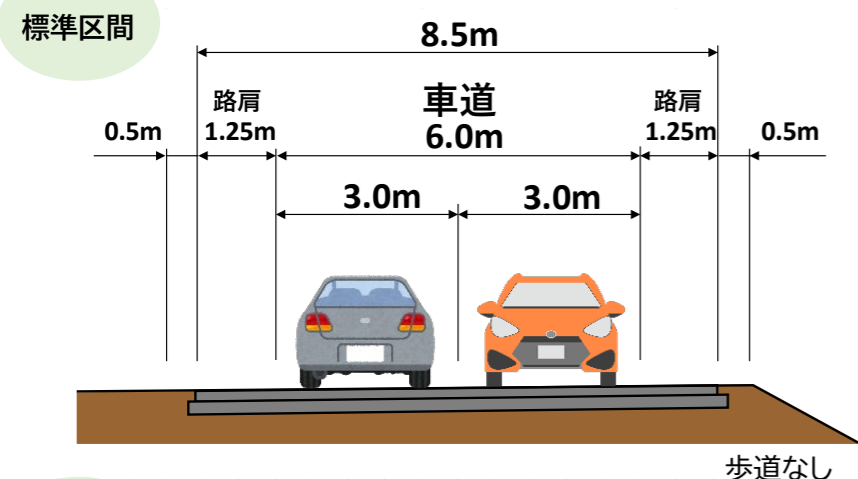
強靱で信頼性の高い、災害に強い道路ネットワークの構築を主な目的として、石巻鮎川線と女川牡鹿線を東西に結ぶ道路を整備します。

また、緊急搬送時間の短縮、水産業など地場産品の販路拡大、観光客の牡鹿半島アクセス向上などの効果も期待されます。

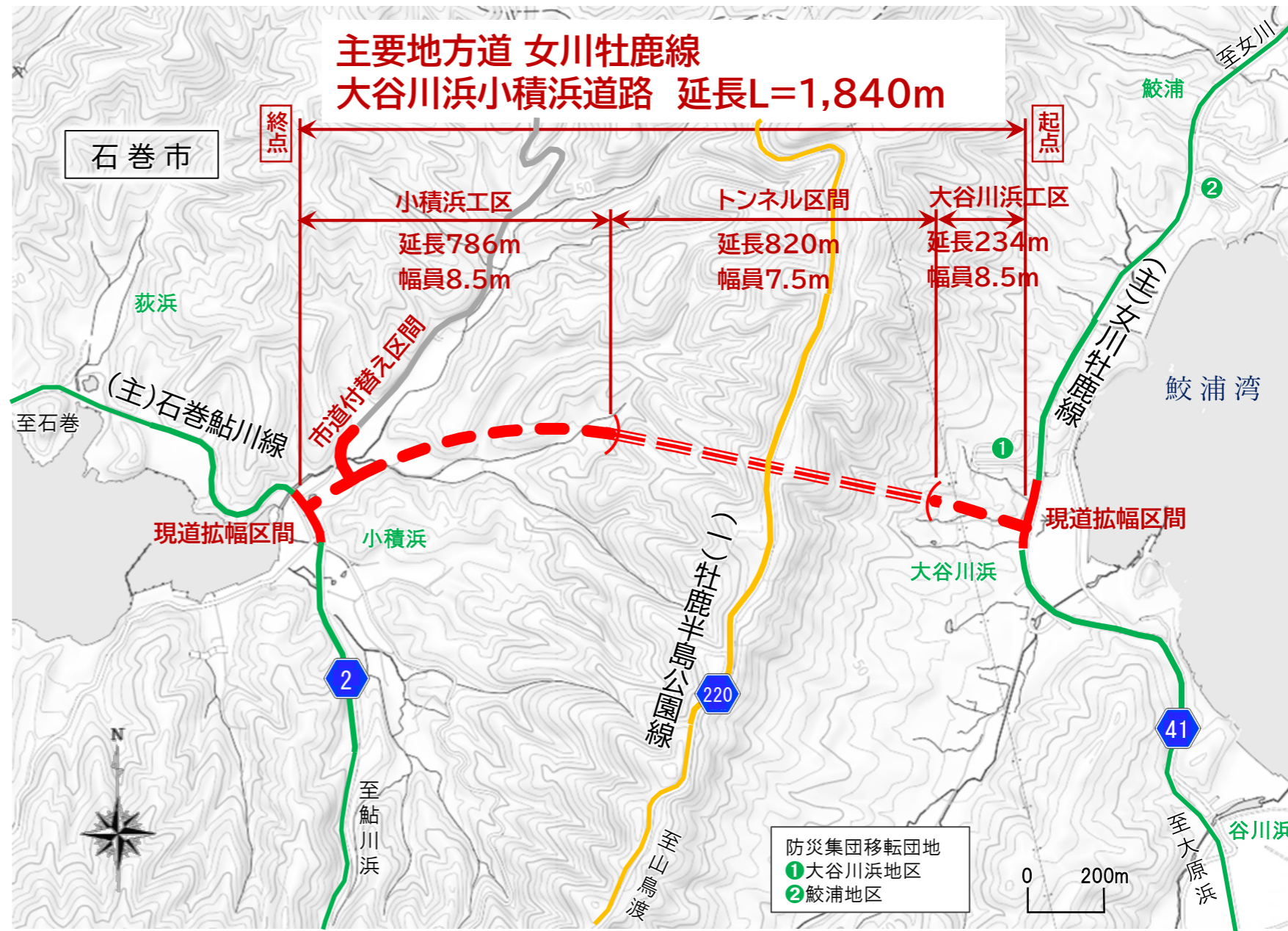


大谷川浜～小積浜間で約10分の短縮が見込まれる（※50km/hで推定）

標準断面図



計画平面図



国土地理院ベクトルタイルを加工して作成

スケジュール

項目	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査設計		[Progress bar]						
用地補償			[Progress bar]					
道路工事				[Progress bar]				◆
トンネル工事				[Progress bar]				◆
付属物工事							◆ ※残工事	

令和9年3月の供用開始に向けて事業を進めています。